

3 学期分東久留米市学校給食運営協議会について（報告）

開催日時	令和6年 1月23日（火）午後3時00分～午後4時00分
会場	東久留米市役所7階 703会議室
出席者	協議会委員：29名（欠席4名） 事務局：教育部学務課
傍聴者	6名

【議事内容】

1 くるめ産給食について

本年度のくるめ産給食の日は、1月16日に実施いたしました。くるめ産給食とは、東久留米市産農産物の多様性を知り、味わい、郷土愛を育むイベント給食です。本イベントは平成27年度から実施しています。

1月16日の献立は小学校全校で統一献立とし、小・中学校全校で柳久保小麦や東久留米市産の野菜をふんだんに取り入れた給食を提供しました。地場産野菜はさまざまな料理に展開可能な力を持っていることを子どもたちや保護者のみなさまにお示しできたのではないかと思います。

本年度は第十小学校に市長、教育長および教育委員等が訪問し、小学生とともにくるめ産給食を囲みながら懇談をしました。

小学校では給食時間等に指導動画を放映、中学校では動画をもとにオリジナルの指導教材を作成し各校で掲示いたしました。

（最後に、くるめ産給食の日に合わせて作成した食育指導動画を放映しました。）

2 学校給食で用いられる食材について

学校給食に用いられる食材について、スライド資料にて説明しました。

3 学校給食についての懇談

小学校

（保護者委員）

今後、食育動画のなかに、農地について、野菜作り以外にも様々な利活用方法があることを組み込んでほしいです。

（保護者委員）

食材の納入業者について、限られた業者へお願いしているのですか。

(事務局)

一定程度まとまった量の発注となるので、給食用の業者をお願いしている状況にあります。

(保護者委員)

提案なのですが、給食の評価をする上で先生や子どもの声を聞く機会があるといいと思います。

(保護者委員)

給食の残食、廃棄する量について統計をとってみると食べ残しが減るようにコントロールできるのかなと思います。

(栄養士委員)

残食量の統計自体はとっており、各校栄養士で対応しています。

(保護者委員)

給食費の無償化について、東久留米市ではどのような状況ですか。

(事務局)

給食費の無償化について、報道を通じて、都が市町村に対して補助金を交付する予定があることは承知しています。しかしながら、具体的な通知はまだ来ていない状況ですので、今後注視していきたいと思います。

(保護者委員)

本校では、毎食時、食育の一環として動画が流れています。このような取り組みは他校でも実施されているのでしょうか。

(栄養士委員)

毎食時ではありませんが、適宜、様々な方法で食育を実施しています。

(座長)

前回の協議会でいただいたご意見について2点報告します。

はじめに調理場の空調について、小学校は建物が古く、今年度の夏は猛暑日も多かったため給食調理場は非常に厳しい状況にありました。古い施設全体を冷やすことは難しいですが、家庭用エアコンを使って涼しい場所を作れないかと考え、その予算化を検討しています。

次に、アレルギー面談についてです。学年進級時は対応に変更のない児童生徒の場合はアレルギー面談を実施していないところです。アレルギー児が増えていることも理由の一つですが、アレルゲンとなる食材が複雑化している傾向にあるため、一人の面談時間が長くなり、始業式から給食開始日までの時間が短いため実施が困難というのが主な理由となっています。そうしたことを踏まえ、従前より課題であった市のアレルギー対応マニュアルの改定を検討しており、例えば給食には使用しない食材を設けることで解決できることもあるのではないかと考えているところです。

(座長)

新型コロナも第5類に移行して、少し時間も経過しました。各校での給食時の喫食形態はどのような状況でしょうか。

(調理員委員)

先日のくるめ産給食の日は、班で向かい合わせにして食べていたようです。

(副座長)

新型コロナの5類移行の際に、喫食形態の制限が外れた時に考えたこととして、班で向かい合わせの喫食形態に戻した場合は、感染症が流行した場合に前向き喫食を実施したいがその際は人権的配慮が必要となり難しい場面があることが課題となりました。今では前向きの他にV字やコの字スタイルなどもあり、前向き喫食ではあるが隣の人との会話もして良いこととしています。

(保護者委員)

子どもの通う学校ではクラスによって喫食形態は様々なようです。また、マスクを着けている生活が長いことから、マスクを外した姿を見られるのに抵抗がある子もいると聞いています。

(座長)

子どもたちにとって給食が少しでも楽しい時間になればよいと思います。

その他、受託事業者の皆さんから、最近の出来事について等、何かご報告ありますでしょうか。

(給食調理受託事業者委員)

調理員は、給食の残食量からよく食べるクラスを把握し配食量の工夫をしているそうです。年度初めから年度末になるにつれて子どもたちの残食量も減ってくる傾向にあります。また、当社が受託している学校では栄養教諭より指導動画の製作に協力してほしいとのことで調理員が製作に参加しています。子どもたちに顔を認識してもらうことで給食室も活気付き、良い効果となっています。

(調理員委員)

本校では、児童と手紙のやり取りをしています。

(栄養士委員)

本校でも児童よりメッセージの書かれた折り紙をもらうことがあり、調理員へ伝えていきます。子どもたちからのメッセージはとてもうれしいようです。

(座長)

各校、様々なやり取りがあることが分かりました。動画制作は、DX推進も含めてご協力いただき感謝します。

中学校

(保護者委員)

小学校と同じ給食にして欲しいです。

(保護者委員)

2学期に実施した試食会の際に、生徒対象を対象とした給食アンケートを実施したので、本日お渡ししたいです。

(保護者委員)

2月に、新入生説明会に合わせて給食試食会を実施します。対象は、新入生の保護者としましたが、新入生となる児童に対しても試食会があると良いと思います。

(保護者委員)

あたたかい献立提供に伴い、給食費の変更はありますか。

(事務局)

あたたかい献立提供に伴う給食費の変更は予定していません。

(保護者委員)

給食のイメージと東久留米市の弁当併用スクールランチ方式は違いがあると感じています。全員給食を希望しています。例えばですが、パンだけしか持たせてもらえない生徒や、親がスクールランチを頼んでくれない等の事由で生徒の栄養面が心配です。

(保護者委員)

注文をしなくとも、全員同じ給食を喫食できるようにしてほしいです。

(保護者委員)

給食の無償化についてはいかがですか。

(事務局)

都が保護者負担軽減を目的に、2分の1を補助するという報道は把握しています。しかし、現在、都から通知が出ているわけではなく、現時点で具体にお伝えすることが難しい状況です。

(保護者委員)

今年度は活発な意見が出ていると思います。全員給食を希望しているという意見があることは分かっていたきたいです。また、くるめ産給食の説明の中で、地場産の利点が挙げられていた点が良かったです。資料内の地場産野菜の使用回数は小、中の合算でしょうか。

(事務局)

確認します。(確認の結果、小学校と中学校の合算でした。)

(保護者委員)

中学校給食は、なぜ選択式なのですか。

(事務局)

もともと、望まれれば全員が食べられる環境を整えた上で、アレルギー対応等が必要な

ご家庭への配慮として、弁当併用スクールランチ方式としています。

(保護者委員)

現在のスクールランチを全員給食にすることはできないのでしょうか。

(座長)

望まれれば全員が食べられる環境となっています。

(保護者委員)

例えば、パンだけしか持たせてもらえない生徒や、親が頼んでくれない等の事由で栄養が保てない場合もあるのではないのでしょうか。学校給食法に違反していないのでしょうか。小学校では給食費を納められなくとも喫食できる場合もあるかと思いますが、中学校給食では難しい場合もあると思います。

(座長)

どのような理由で頼まない、頼めないのか、もしかしたら、福祉的な支援が必要な場合もあるかもしれません。また、学校給食法に規定されている学校給食を、弁当併用スクールランチ方式で提供しています。小学校で給食費を納めなくても食べられるという状況は、給食費を納めた方が肩代わりしている状況でもあります。

(保護者委員)

スクールランチ方式は給食費徴収のためなのでしょうか。

(座長)

前払い方式ですと、確実に給食費をお支払いいただくことができ、給食運営が安定するというメリットはあります。

(保護者委員)

スクールランチと弁当をどちらにするかを、新入生保護者会の際に保護者間で話している状況にあります。申し込むのが当たり前にしてほしいです。

(座長)

もともとの成り立ちとして、給食を食べることが当たり前であることを前提にアレルギー対応生徒等のご家庭への配慮ということで選択式としているので、その前提がなく、選択できるという受け止めになられているのであれば、入学説明会等での今後の伝え方を考えたいと思います。

(保護者委員)

喫食率がもともと20%台だったと聞いています。

(座長)

どちらの自治体の数値かは分かりかねますが、当市の場合、60%超からスタートして、50%代で推移して、現在は60%程度となっています。

(保護者委員)

弁当併用スクールランチ方式が始まってどのくらいになりますか。

(座長)

16年ほど経過しています。

(保護者委員)

弁当併用スクールランチ方式で喫食率が100%になった場合に、調理場は対応できますか。

(受託事業者委員)

A、B選択数にもよるところがありますが、フライヤーを拡張したりする必要があるかもしれません。

(保護者委員)

在校時一括予約がAランチのみになっていることは、改善してほしいです。

(事務局)

次の新入学生徒から中学校給食予約システムの改修により、選択できるようになります。